



## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 06208682 A

(43) Date of publication of application: 26 . 07 . 94

(51) Int. Cl. G07F 17/26  
 G03G 15/00  
 H04N 1/00  
 H04N 1/34

(21) Application number: 05001869

(71) Applicant: FUJI XEROX CO LTD

(22) Date of filing: 08 . 01 . 93

(72) Inventor: GOTO TOMOYUKI

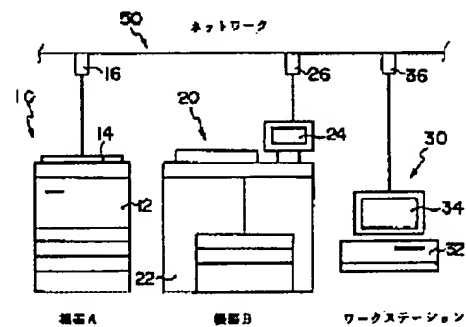
(54) PICTURE PROCESSOR

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&amp;Japio

(57) Abstract:

**PURPOSE:** To display the presence of an equipment for which a charge for executing a job is inexpensive at the time of performing the job by using one of picture processors arranged in plural numbers.

**CONSTITUTION:** For the system of the picture processors, the equipments such as a first picture processing equipment A indicated by a code 10, a second picture processing equipment B indicated by the code 20 and a work station 30, etc., are arranged around. The respective equipments stand alone or are linked by a network 50. The controllers of the respective equipments are provided with a main control part, a memory part, an arithmetic part and a comparing processing part and the charge of the equipment and the charges of the peripheral equipments are inputted to the memory part beforehand corresponding to the types of the jobs. When a user selects the job by the certain equipment inside the system, the charges by the equipment and the peripheral equipments are displayed and the user can execute the job while considering costs.



(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-208682

(43)公開日 平成6年(1994)7月26日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 7 F 17/26		9028-3E		
G 0 3 G 15/00	1 0 2			
H 0 4 N 1/00		B 7046-5C		
1/34		2109-5C		

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平5-1869

(22)出願日 平成5年(1993)1月8日

(71)出願人 000005496

富士ゼロックス株式会社

東京都港区赤坂三丁目3番5号

(72)発明者 後藤 知之

神奈川県海老名市本郷2274番地 富士ゼロックス株式会社内

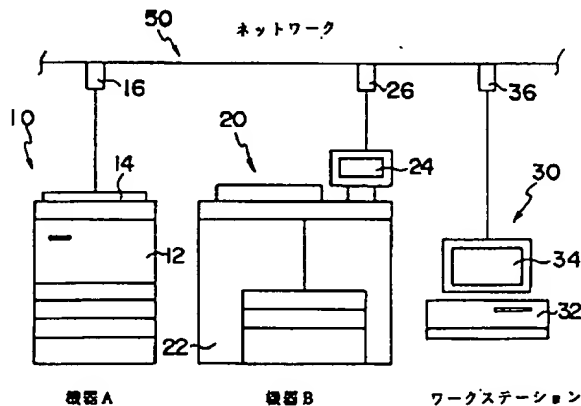
(74)代理人 弁理士 住吉 多喜男 (外2名)

(54)【発明の名称】 画像処理装置

(57)【要約】

【目的】 複数台配置される画像処理装置の1台を用いてジョブを行なう際に、そのジョブを実行するための料金の安い機器の存在を表示する。

【構成】 画像処理装置のシステムは、符号10で示す第1の画像処理機器A、符号20で示す第2の画像処理機器B、ワークステーション30等の機器が周辺に配置されている。これらの機器はそれぞれスタンドアローンか、またはネットワーク50で連結されている。各機器の制御装置は、主制御部、メモリ部、演算部、比較処理部を含み、予めメモリ部に対してジョブの種類に応じて、本機器の料金及び周辺機器の料金が入力される。ユーザーがシステム内のある機器でジョブを選択するとその機器及び周辺機器での料金が表示され、ユーザーはコストを勘案しつつジョブを実行することができる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 その場あるいは遠隔地で画像を処理する複数台の画像処理装置を有し、各画像処理装置は、画像読取り装置と、画像形成装置と、入力パネル等を備えて画像処理を設定する入力装置と、表示装置と、各装置に接続される制御装置とを備え、制御装置は主制御部と、各画像処理装置における各種類の画像処理を実行するための料金を記憶するメモリと、指令された画像処理の種類に応じてその料金を演算する演算部と、演算された料金を他の画像処理装置の料金と比較する比較処理部とを有し、比較された料金を表示装置に表示する画像処理装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【 0 0 0 1 】

【産業上の利用分野】 本発明は、その場あるいは遠隔地で画像を処理する画像処理装置（複写機等）に関する。

## 【 0 0 0 2 】

【従来の技術】 特開昭 5 6 - 5 4 4 5 5（画像処理装置）では、画像処理動作を設定した時点画像処理終了までに要する時間を表示する内容が公開されている。上記技術では、以下のような課題が残る。例えば、ある場所に 2 台の画像処理装置が設置されているとする。このとき、ユーザーはどちらの画像処理装置を使用すれば安価に処理できるかが容易には判断できない。なぜなら、画像処理装置によっては、ユーザーとの契約状態、フルカラーかモノカラーか、編集を使用するかしないかで画像処理に要する料金が異なるからである。

## 【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】 複写機等の画像形成装置に関し、ルームやオフィス内に複数の画像形成装置を有する場合、最も単価に安い画像形成装置を使用し、複写物等を得ることを目的とする。

## 【 0 0 0 4 】

【課題を解決するための手段】 本発明の画像処理装置は、その場あるいは遠隔地で画像を処理する複数台の画像処理装置を有し、各画像処理装置は、画像読取り装置と、画像形成装置と、入力パネル等を備えて画像処理を設定する入力装置と、表示装置と、各装置に接続される制御装置とを備え、制御装置は主制御部と、各画像処理装置における各種類の画像処理を実行するための料金を記憶するメモリと、指令された画像処理の種類に応じてその料金を演算する演算部と、演算された料金を他の画像処理装置の料金と比較する比較処理部を備える。

## 【 0 0 0 5 】

【作用】 ユーザーがシステム内のある画像処理装置で画像処理ジョブを指定すると、そのジョブの料金が演算され、システム内の他の装置でのジョブの料金と比較処理されて結果が表示される。

## 【 0 0 0 6 】

【実施例】 図 1 は本発明を実施する画像形成装置システ

ムの概要を示す。画像処理装置システム 1 は複数の画像処理機器を含み、図示の例では第 1 の複写機器（A）10、第 2 の複写機器（B）20、ワークステーション 30 を備える。第 1 の機器 10 は、画像処理機能を有する本体 12 と、入力及び表示パネル 14 を有し、インターフェース 16 を介してネットワーク 50 に接続される。第 2 の機器 20 は、画像処理機能を有する本体 22 と入力及び表示装置 24 を有し、インターフェース 26 を介してネットワーク 50 に接続される。第 3 の機器であるワークステーション 30 も、本体 32 に入力及び表示装置 34 を有し、インターフェース 36 を介してネットワーク 50 に接続される。システムは、必ずしも各機器をネットワークで連結する必要はなく、複数の機器をスタンドアロンで構成することもできる。

【 0 0 0 7 】 図 2 は各画像処理機器が装備する制御処理装置のブロック図である。制御装置 100 は、主制御部 110、メモリ部 120、演算部 130、比較処理部 140 等を含む。制御装置 100 には、入力装置 200、表示装置 300、画像読取り装置 400、画像形成装置 500 が接続される。このような機器構成を有するシステムにあって、料金表示を行うための料金設定のフローチャートを図 3 に示す。この設定作業は、原則としてサービスマンのみが行うことができる。ステップ 1000 でスタートした処理は、ステップ 1010 で第 1 の機器 10 において、D I A G モードに用意されている料金設定ルーチンを呼び出す。

【 0 0 0 8 】 ステップ 1020 では、この機器 10 の入力装置を用いて、以下の項目のうちで該当する項目を入力する。

- ① 白黒コピー単価
- ② クリエイションコピー単価
- ③ フルカラーコピー単価
- ④ 白黒プリント単価
- ⑤ クリエイションプリント単価
- ⑥ フルカラープリント単価

のような項目から選択する。ステップ 1030 では、第 1 の機器 10 の周辺に配置されている画像処理機器についても、同様の入力設定を行う。この場合に周辺に配置されている機器が、第 1 の機器と同様の機器であり、かつ、ネットワーク 50 で接続されている場合には、第 1 の機器と入力された情報を共有することができる。ステップ 1040 では、第 2 の機器 20 に対しても同様の入力設定を行なう。さらに、第 2 の機器 20 の周辺にも他の機器が配置されていれば、同様の手順をくり返す。

【 0 0 0 9 】 ステップ 1050 では、表示する情報のレベルを設定する。設定するレベルは、  
レベル 1：本機器のコピー料金に比べて他の機器のコストの方が安ければ表示する。  
レベル 2：全ての設定機器の料金を表示する。

以上の手順が完了するとステップ 1060 で処理を終了

する。

【0010】図4は、複写時における低料金を表示するフローチャートである。ステップ2000で第1の複写機器10での制御処理が開始され、ステップ2010でユーザーがジョブの内容をその機器の入力装置200を用いて設定する。ジョブの内容は、例えば、白黒コピーやフルカラーコピー等である。ステップ2020でスタートボタンを押下すると制御装置100は、低料金指示機能が有効か否かを判断し、機能が設定されていれば、ステップ2100へ進む。ステップ2100では、制御装置100が本機がジョブを実行するのに最も安価な機器であるか否かを判断する。制御装置100は主制御部110に連結するメモリ120を有し、メモリ120内に各機器における各ジョブの単価等が入力されている。演算部130は、処理すべきジョブを達成するための料金の演算を行ない、比較処理部140は、各機器でのジョブの料金を比較する。

【0011】本機器におけるジョブ達成の料金が最も安価であると判定されると、ステップ2500へ進み、主制御部110は、画像読取り装置400と画像形成装置500を起動して、コピー動作を実行する。本機器よりもジョブ達成の料金が安い機器がシステム内に存在する場合には、ステップ2120へ進み、予め設定されている表示情報レベルの判定を行なう。表示情報レベル1が選択されていたら、ステップ2200へ進み、「機器Bの方が安くコピーできます。中断するなら「中断ボタン」を、続行するなら「続行ボタン」をおしてください」というメッセージを表示装置300上に表示する。ステップ2210では、「続行ボタン」が押下されたかを判断し、ボタンが押下されているならば、ステップ2500へ進み、コピー動作を実行する。「続行ボタン」が押下されなければ、ステップ2220へ進み、「中断ボタン」が押下されたか否かを判断し、押下されたならば、ステップ3000へ進み、処理を終了する。

【0012】「中断ボタン」が押下されなければ、ステ

ップ2210へ戻り、処理をくり返す。ステップ2120で表示レベルがレベル1でない旨が判断されると、ステップ2300へ進む。ステップ2300では、表示情報レベル2の内容である、「本機器での料金はX円。機器BではY円です。コピーを中断するなら「中断ボタン」を、続行するなら「続行ボタン」をおしてください」というメッセージを表示装置300に表示する。

【0013】ステップ2310では「続行ボタン」が押下されたか否かが判断され、押下されていればステップ2320へ進み、コピー動作を実行する。「続行ボタン」が押下されていなければ、ステップ2350へ進み、「中断ボタン」が押下されたか否かが判断される。「中断ボタン」が押下されていれば、ステップ3000へ進み、処理を終了する。「中断ボタン」が押下されなければ、ステップ2310へ戻り、処理をくり返す。以上に説明した制御処理と処理手段により、複数台配置されている画像形成装置のうちから、ジョブを達成できる料金が一番安い機器をユーザーが選択することができる。

【0014】

【発明の効果】本発明は以上のように、複数の画像処理装置を導入しているユーザーは、特別あるいは専用の装置なしにコピー前に料金（どの機器が最も安いのかも含めて）がわかるため顧客満足度の向上につながり、コストダウンをはかることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施例を示すシステム構成図。

【図2】 画像処理装置の構成を示すブロック図。

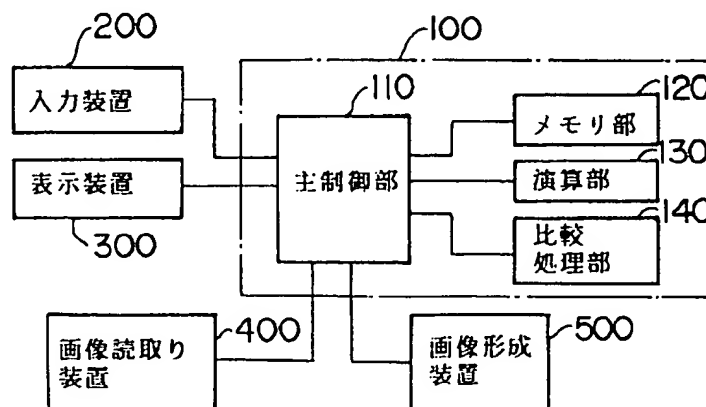
【図3】 データの入力処理のフローチャート。

【図4】 料金表示の処理のフローチャート。

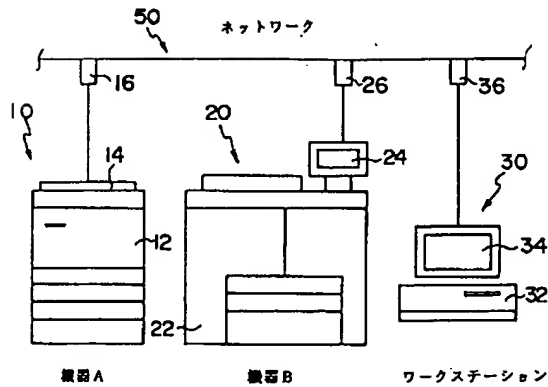
【符号の説明】

10 第1の画像処理機器A、 20 第2の画像処理機器B、 30 ワークステーション、 50 ネットワーク、 100 制御装置、 200 入力装置、 300 表示装置。

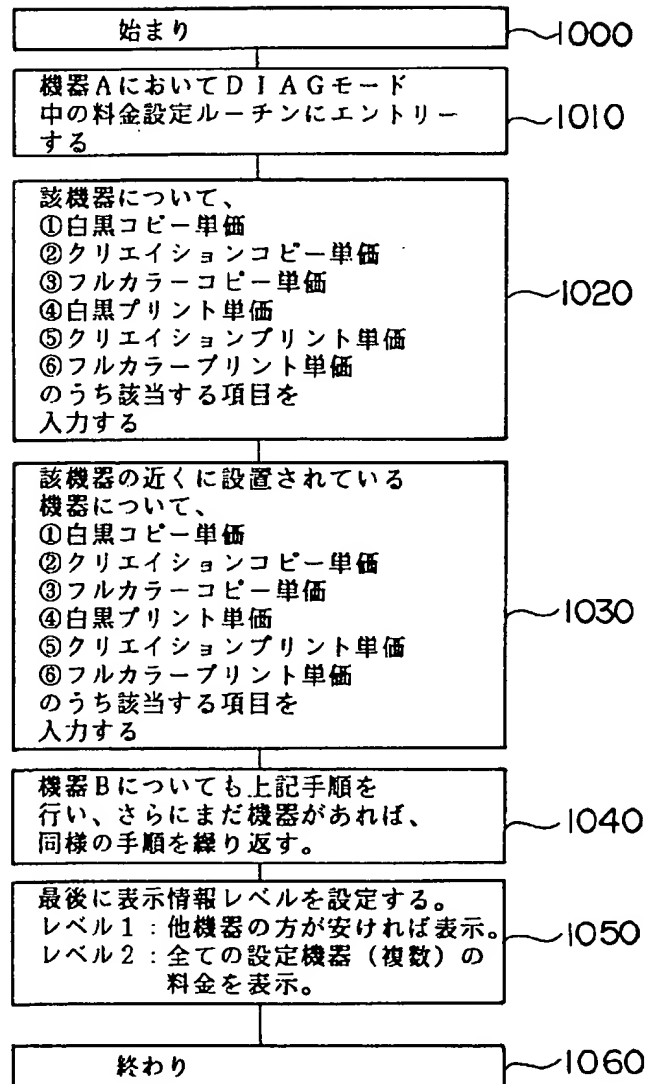
【図2】



【図1】



【図3】



【図4】

